

火山のペーパークラフトを作ろう

目的：自然現象を楽しく学び、災害から自分を守る

【対象】 小学生・中学生・高校生（少数でも良いですから、小中高生がそれぞれ参加してください）

【事前の自習】 できたら少しでも読んでおいてください。読まなくても良いです。

1. 火山の事典 「セントヘレンズ山」コピー用意
2. 空から見た世界の火山 「セントヘレンズ山」コピー用意
3. インターネット USGS（アメリカ地質調査所）<http://www.usgs.gov/>
4. インターネット 防災科学研究所 <http://www.bosai.go.jp/>
5. 富士火山防災パンフレット（火山災害の種類が分かる）

10月25日（火） 教室とプロジェクターをご用意ください。

【募集人数】 何人でも OK。事前に人数を教えてください。（材料、道具準備のため）

第1回【パワーポイントで火山と防災学習】10:00～10:30 必要備品 液晶プロジェクター

1. 火山災害から身を守るには
2. なぜセントヘレンズ山が面白いの？
3. セントヘレンズ山のペーパークラフトの作り方

第2回【セントヘレンズ火山のペーパークラフトを作る】10:40～12:00、13:00～14:00

【工作に必要なもの】 はさみ、工作用ボンド、つまようじ、新聞紙（工作台）その他

◎学校、父兄の許可が必要になります。

10月26日（水）又は、10月28日（金）

第3回【国際火山防災シンポジウム参加】 専門家向けだけど、もぐりこもう！ チャンス！

同じ内容で2回あります。

第1回 10月26日山梨県環境科学研究所 <http://www.yies.pref.yamanashi.jp/>

第2回 10月28日つくば防災科学研究所 <http://www.bosai.go.jp/>

【募集人数】 車（ステップワゴン）に乗りきれだけの人数。定員6名 補助席使用で7名。レンタカー使用で9名も可能。希望者多数の場合、26日と28日に分ける事も可能。

【参加費】 無料 費用は早川紘平の父が負担

【朝食】 ドライブイン、【昼食】 コンビニ弁当＋飲み物、【夕飯】 ドライブイン

朝6:00 暁星出発 → 9:00 会場到着 → 国際火山防災シンポジウム参加 → 18:00 会場出発 → 21:00 暁星到着（注意）シンポジウムの最中おしゃべりしないこと！

11月～12月の休日など

【募集人数】何人でもOK。事前に人数を教えてください。**パソコンが必要になります。**

第4回【自分でオリジナルの防災ペーパークラフトを創る】

1. コンピューターにより、セントヘレンズ災害実績図、富士山火山現象実績図、郷土の災害実績図などを自分で実際に作ってみよう。(3Dソフト、ペーパークラフトソフト、WORDなどを用いる。)
 - (ア) 郷土の津波、地震、火山、洪水など災害を調べてみよう。
 - (イ) 安全な場所と危険な場所を色分けしよう。
2. 自分で作ったものを、友人などに配布する。インターネットで配布する。
3. 模造紙などで災害から自分を堂守るかの研究成果を発表して、他の生徒に伝える。

第5回【災害から自分を守り、周りを助けるには】

1. 自由対話 (いままで不参加の生徒も参加可能)
2. 打ち上げパーティー (お菓子・飲み物・ゲーム用意 防災教室不参加の生徒全員参加も可能)

【その他】

- ◎ 最初に火山のペーパークラフトを作りますが、「自由に作る防災ペーパークラフト教室」では、郷土の過去の災害を調べて立体実績図をパソコンで作ります。地震や津波なども可能でしょう。
- ◎ 内容が変わることもあります。参加者の希望により変えることもできます。
- ◎ 富士山自然現象の見学会もできます。
 - 枕状溶岩、火砕流の跡 (最近発見された)、富士山の成層地層、溶岩洞窟、その他
- ◎ USGS 地図検索でセントヘレンズ山を探してみよう
 - 地図検索 <http://nmviewogc.cr.usgs.gov/mapFrame.htm>
 - その他 <http://edc.usgs.gov/>
- ◎ 国際シンポジウムでは通訳が付きますが、休み時間に英語で質問しよう。(火山や防災について少し勉強していることが必要?)
- ◎ インターネット検索キーワード usgs、st.helens、volcano など